

製品名: 4E-BP1/2/3 (リン酸化スレオニン 45) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86144**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムと 50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	21kDa

抗原情報

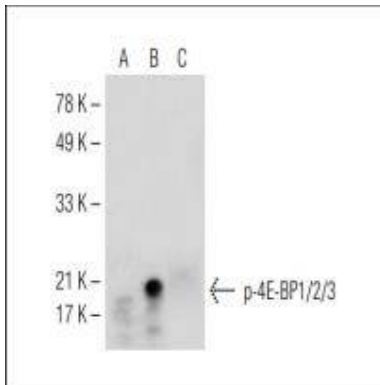
遺伝子名	4E-BP1/2/3 (Phospho-Thr 45) 4E-BP1 antibody</br> 4EBP1 antibody</br> 4EBP1_HUMAN antibody</br> BP 1 antibody</br> eIF4E binding protein 1 antibody</br> eIF4E-binding protein 1 antibody</br> Eif4ebp1 antibody</br> Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1 antibody</br> PHAS-I antibody</br> PHASI antibody</br> Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1 antibody</br>
別名	
遺伝子 ID	1978.0
SwissProt ID	Q13541
免疫原	ペプチド

背景

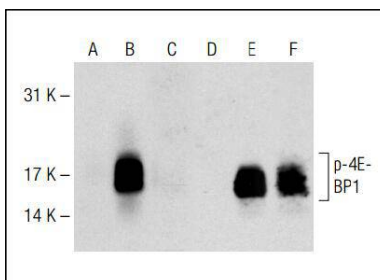
多サブユニットからなる真核生物翻訳開始因子 (eIF) 4F は、40S リボソームサブユニットを mRNA の 5'末端にリクルートします。eIF4F サブユニットの eIF4E は、mRNA の 5'キャップ構造と直接相互作用します。eIF4F 複合体の組み立ては、リプレッサーポリペプチドファミリーである eIF4E 結合タンパク質 (4E-BP) によって阻害されます。4E-BP1 (PHAS-1 と呼ばれる) は通常、eIF4E に結合し、キャップ依存性翻訳を阻害します。4E-BP1 の過剰リン酸化はこの結合を阻害し、キャップ依存性翻訳を活性化します。PI3 キナーゼ/Akt 経路と FRAP/mTOR キナーゼは 4E-BP1 を制御します。4E-BP1 は生体内で複数の残基がリン酸化され、FRAP/mTOR によるヒト 4E-BP1 のトレオニン 37 およびトレオニン 46 のリン酸化が、セリン 65 およびトレオニン 70 を含む部位での後続のリン酸化のきっかけとなる可能性があります。ラットの対応する残基には、トレオニン 36、トレオニン 45、セリン 64、およびトレオニン 69 が含まれます。また、生体外では、4E-BP1 はインスリン レベルの上昇に反応して、毛細血管拡張性運動失調症 (ATM) によってヒトのセリン 112 (ラットのセリン 111) がリン酸化されます。

研究分野

画像データ



未処理 (A)、カリキュリン A 処理 (B)、カリキュリン A およびラムダタンパク質ホスファターゼ処理 (C) Jurkat 全細胞溶解物における 4E-BP1/2/3 リン酸化のウェスタンブロット分析。



293T 全細胞ライセートにおける 4E-BP1 リン酸化のウェスタンブロット解析。非トランスフェクション (A,D)、未処理ヒト 4E-BP1 トランスフェクション (B,E)、およびラムダプロテインホスファターゼ処理ヒト 4E-BP1 トランスフェクション (C,F) の各細胞ライセートについて解析した。試験した抗体は p-4E-BP1/2/3 (A,B,C) および 4E-BP1 (D,E,F) である。